

鯉のぼり&ジュゴンのぼり掲揚式!

元気にすくすく育てうるまっ子

「5月5日の子どもの日」にちなんで、鯉のぼり掲揚式が石川、与那城庁舎の雨による中止を除いて、4月25日本庁（具志川庁舎）、26日に勝連庁舎で鯉のぼりの掲揚式が行われました。式には各地域にある保育園が参加し、園児らが日頃練習した歌と手話などを元気よく披露。その後、代表園児と知念市長がいっしょに鯉のぼりを掲揚しました。

知念市長は「お友達と仲良く、笑顔で元気に育ってね」と子ども達の健やかな成長を願いあいさつしました。

また同じく4月29日～5月7日の9日間、海の環境教育と地域の活性化を目的とした「第2回ジュゴンのぼりin海の文化資料館」が開催され、昨年に続き地域の方の協力でジュゴンのぼり50頭を制作し、昨年の作品と合わせ80頭を掲揚。気持ちよさそうに青空を泳ぐ姿が来館者の目を楽しませました。

▲市役所本庁など市の関連施設では、鯉のぼり、ジュゴンのぼりが掲揚されました。

4月第3日曜日は「もずくの日」・フェア開催

もずくを食べて 皆で健康になるう!

第4回「もずくの日」のイベントが4月16日平敷屋漁港内で開催されました。うるま市勝連のもずくは県内の45%の生産量、県外出荷量90%を誇り、全国一の産地となっています。オープニングでは与勝第二中学校吹奏楽部が「川の流れのように」など数曲を演奏。勝連漁協赤嶺博之組合長挨拶の後、知念市長は「赤嶺組合長と海人の皆さんが力を合わせて今後とももずくの生産拡大に頑張ってください。体に良いもずくを皆で沢山食べて、健康になりましょう」と激励しました。

会場内では、もずくやその他の水産物を使った加工品の展示即売やもずくのつかみ取り、漁場見学、もずく早食い競争など「もずくの日」にふさわしい多彩なイベントが行われ、多くの参加者が思い思いに楽しんでいました。



▲フェア恒例のもずくのつかみ取り



▲もずくの早食い競争第1位は?



▲セレモニーで演奏する与勝第二中吹奏楽部



▲もずくの加工品などを買い求める来場者



▲もずく漁場へ向う参加者たち